

市町村名		中城村					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	吉の浦公園等施設機能強化整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部署名	生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	地域振興及び観光誘客を図るため、健康づくりや文化振興の拠点として吉の浦公園等施設の整備を実施する。また、プロサッカーチームの合宿誘致を図るため、陸上競技場の芝生の適正管理等を行う。						
効果発現年度	■当年度      ■後年度( R2 年度)						
実施方法	■直接実施    ■委託    □補助    □負担    □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H30年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,480	7,066	41,008	22,372	-
		(b)予算現額	6,480	14,194	54,309	21,422	-
		(c)増減額(b-a)	0	7,128	13,301	▲ 950	-
		(d)繰越額	0	0	0	0	2,742
		A. 計(b+d)	6,480	14,194	54,309	21,422	2,742
	B. 執行済額		6,480	14,148	54,307	18,684	2,710
	うち交付金充当額		5,184	11,318	43,445	14,947	2,168
	次年度繰越額					2,742	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.7%	100.0%	87.2%	98.8%
予算の状況の説明		建築確認に時間を要したため一部予算を繰越したが、予算は計画どおり執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	芝生の適正な管理	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	芝生管理機械購入	目標	( )	( )	( )	( 購入 )	
		実績				購入	
吉の浦会館トイレ設備の機能強化に係る設計の実施	目標	( )	( )	( )	( 実施 )		
	実績				実施		
達成状況説明	当初の目標どおり、芝の適正管理及び管理体制を強化するための芝管理機械の購入、また吉の浦会館トイレの設計委託を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R2年度)
	プロサッカーチームキャンプ受入 2チーム	目標	( )	( 2チーム )	( 2チーム )	( 2件 )	( )
		実績		2チーム	2チーム	2件	
	吉の浦会館トイレ設備の機能強化に係る設計の実施	目標	( )	( )	( )	( 完了 )	( )
		実績				完了	
	【R2成果目標】 吉の浦会館の利便性が確保されたかを含め、当該事業のあり方について会館利用者へのアンケートで検証する。	目標	( )	( )	( )	( )	( 利便性確保 80% )
実績							
進捗状況説明	サッカー場の芝生を適正に管理し、また機械購入で管理体制を強化したことにより観光誘客の促進に繋げることができた。トイレ設計委託の建築確認日程に時間を要したため繰越せざるを得なかったが、目的の増築、機能強化に向けた設計が完了し利便性向上を図る準備を整えることができた。						

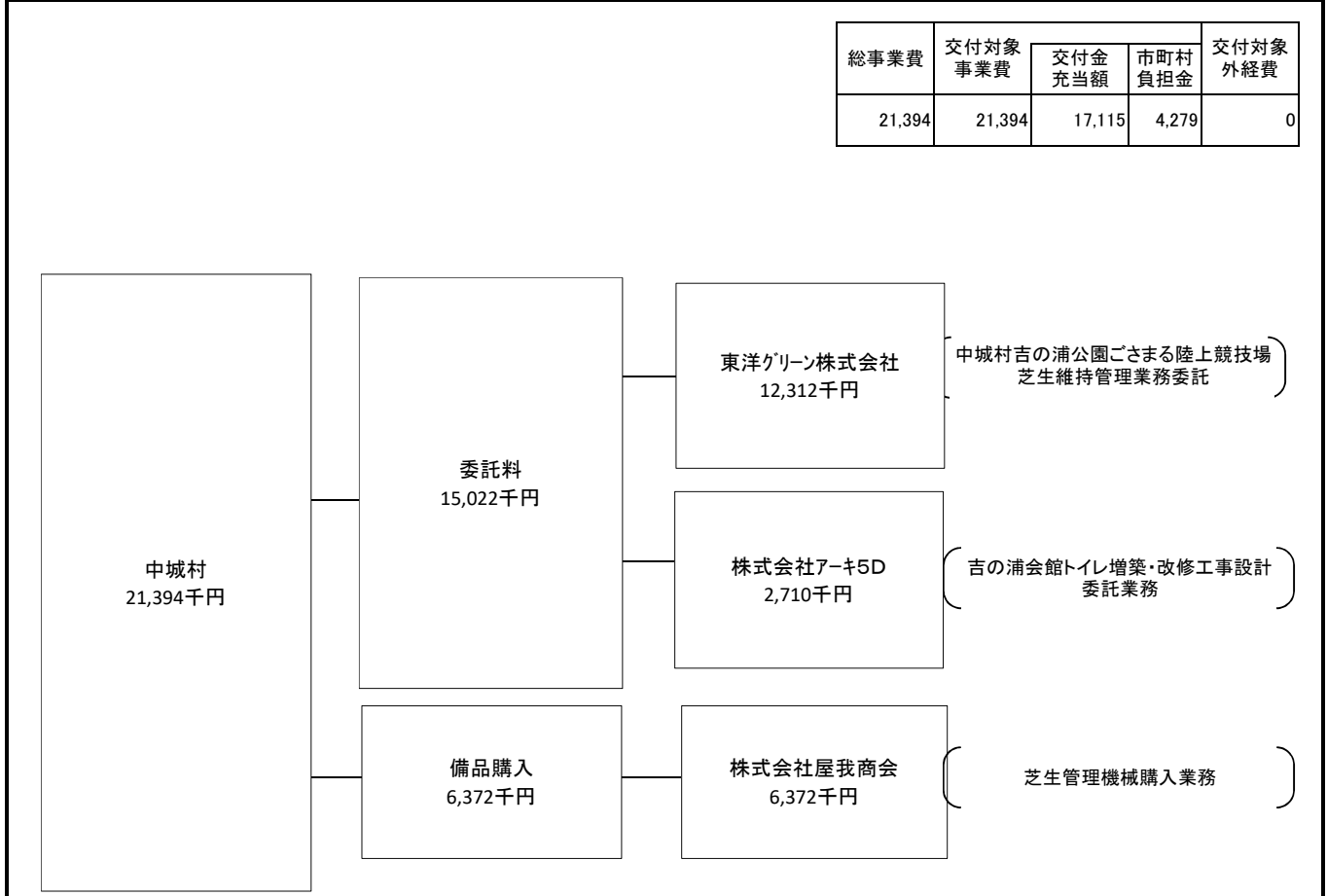
		推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証		プロチーム仕様の芝を維持することでプロサッカーチームの受入を毎年継続しているが、芝管理機械導入により更に効果的な芝管理ができるよう委託業者と調整していかなければならない。	効果的、また効率的に適切な芝管理ができるよう、委託業者と連携を図っていく必要がある。
		利用者の利便性・満足度の向上を図るため、速やかに工事を実施する必要がある	設計に基づき増築・改修工事を実施し、また工事完了後は施設の整備による利便性の向上を周知し、より幅広い層への利用を促進する。

**今後の取り組み方針**

芝管理機械を活用し、より効果的、また効率的に適切な芝管理を行うため委託業者との情報共有を行い現場状況を把握し、適宜必要な調整ができるよう取り組んでいくことで、芝生の管理体制を強化しプロサッカーチームの受入を継続して実施し観光誘客に繋げていく。

利用者の利便性向上を図り快適な環境を提供できるよう、早期に工事を実施するため関係課との調整(業者選定や予定価格の決定など)を早い段階で行い工事着手できるよう取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約については指名入札を行っており、選定及び予算規模については妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予定していた事業内容はすべて実施された他、活動目標・成果目標も達成しているため、予算規模は適切であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、現場、利用者の意見の中から精査し、精算段階においても検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	